

本市の新型コロナウイルス感染症の対応等について

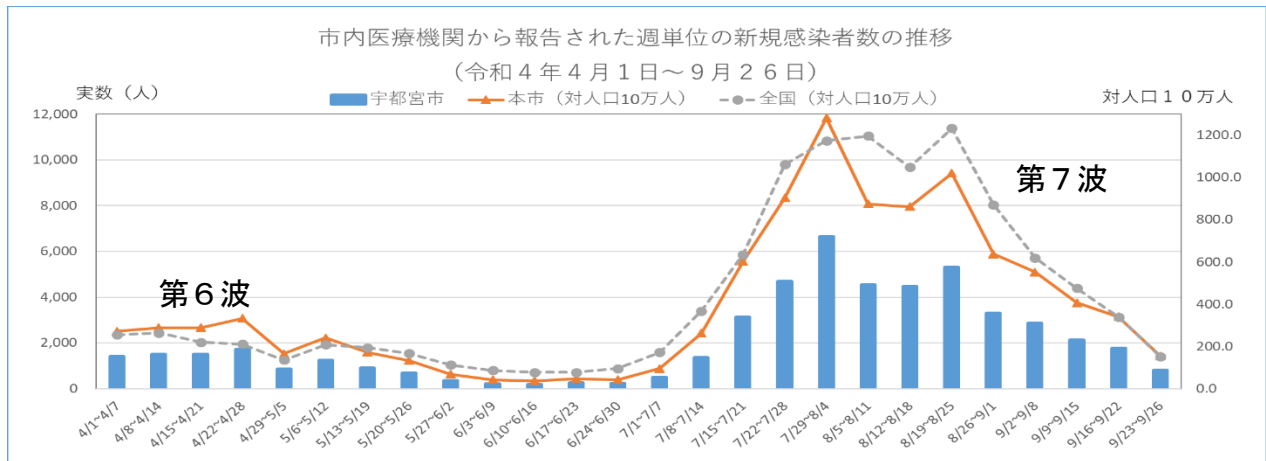
◎ 趣旨

本市の新型コロナウイルス感染症の感染状況や新型コロナワクチンの接種状況等について報告するもの

I 新型コロナウイルス感染症の感染状況等について

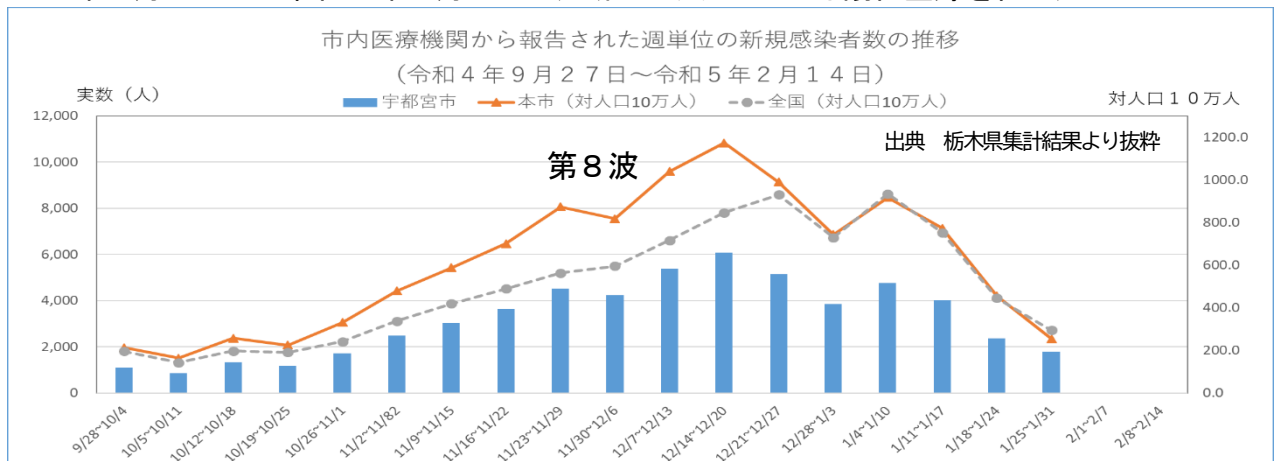
- 発生当初から新型コロナウイルス感染症と診断した医師は、すべての患者の発生を保健所に届け出ることとなっていたが、令和4年9月26日に、国が、全国一律で届出の対象者を見直し、①65歳以上の者、②入院を要する者、③重症化リスクがあり、かつ新型コロナウイルス治療薬投与又は新たに酸素投与が必要な者、④妊婦の4類型に限定した。

1 発生届限定化以前の市内医療機関から報告された週単位の新規感染者数の推移（令和4年4月1日～9月26日）



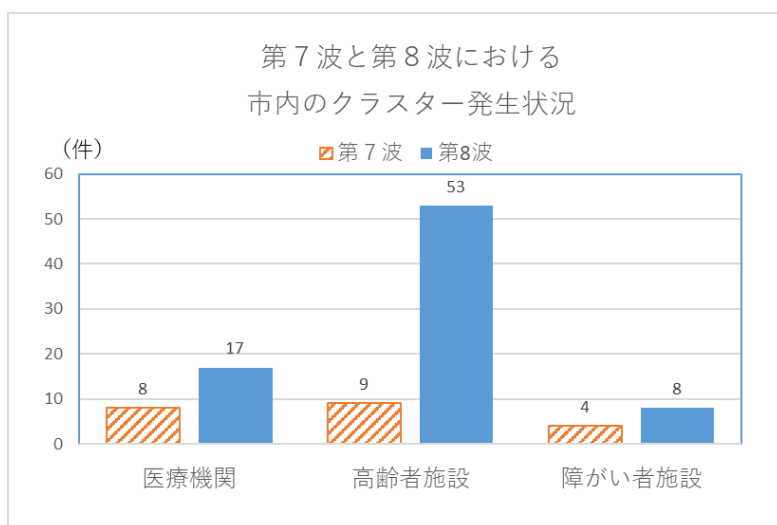
⇒ オミクロン株の流入に伴い、令和4年1月から継続していた第6波は、5月の大型連休以降に減少に転じた。7月中旬には第7波に入り、さらなる感染者の急拡大がみられ、9月に減少した。

2 発生届限定化以降の市内医療機関から報告された週単位の新規感染者数の推移（令和4年9月27日～令和5年2月14日）（自己キットによる陽性登録を含む）

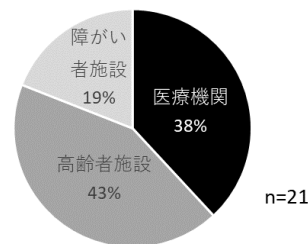


⇒ 11月中旬から感染者数がゆるやかに増加し、第8波とされ、12月中旬をピークに減少傾向がみられている。

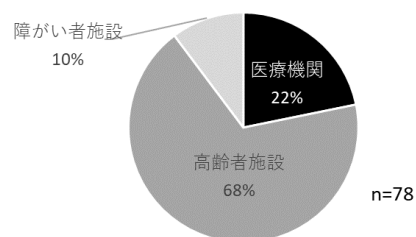
3 第7波と第8波における市内のクラスター発生状況（第7波を令和4年7月1日～9月30日、第8波を令和4年11月1日～令和5年2月10日として集計）



第7波におけるクラスター施設の内訳



第8波におけるクラスター施設の内訳



⇒ 第8波では、第7波に比較して、クラスターの発生数が増加した。中でも、高齢者施設の割合が高く、全体の約7割を占める。

II 新型コロナウイルスワクチン接種について

1 接種対象者別の実施状況

対象者	接種回数等	接種開始
12歳以上	・4回目接種開始（高齢者、18歳以上の基礎疾患を有する方、医療従事者・高齢者施設等の従事者）	令和4年5月26日
	・オミクロン株対応ワクチン	3・4回目接種開始 9月25日
	5回目接種開始 10月27日	
小児（5～11歳）	・3回目接種開始	9月6日
乳幼児（生後6か月～4歳）	・初回接種開始（1～3回目）	11月4日

2 本市の接種状況

(1) オミクロン株対応ワクチンの年代別接種状況（3～5回目合計）（2月6日時点）

年齢区分	対象者数	本市		参考		
		接種回数	接種率	栃木県 接種率	全国 接種率	全国と本市 との比較
65歳以上	133,699	105,717	79.1%	76.1%	72.3%	+6.7%
60～64歳	28,965	19,688	68.0%	65.5%	60.2%	+7.8%
50～59歳	70,436	40,297	57.2%	57.3%	49.6%	+7.6%
40～49歳	80,081	31,515	39.4%	40.0%	33.3%	+6.1%
30～39歳	62,780	17,941	28.6%	29.4%	24.7%	+3.9%
20～29歳	52,202	13,009	24.9%	26.0%	21.0%	+3.9%
12～19歳	38,623	12,747	33.0%	31.5%	23.9%	+9.1%
合計	466,786	241,377	51.7%	52.6%	46.7%	+5.0%

(2) 小児（5～11歳）の接種状況（2月6日時点）

年齢区分 (対象者数)	接種区分		本市		参 考		
			接種回数	接種率	栃木県 接種率	全国 接種率	全国と本市 との比較
5～11歳 (32,423)	初回接種	1回目	10,808	33.3%	30.9%	19.9%	+ 13.4%
		2回目	10,187	31.4%	29.8%	19.1%	+ 12.4%
	追加接種	3回目	4,454	13.7%	12.8%	8.0%	+ 5.7%

(3) 乳幼児（生後6か月～4歳）の接種状況（2月6日時点時点）

年齢区分 (対象者数)	接種区分		本市		参 考		
			接種回数	接種率	栃木県 接種率	全国 接種率	全国と本市 との比較
0～4歳 (19,927)	初回接種	1回目	1,062	5.3%	4.9%	3.2%	+ 2.1%
		2回目	705	3.5%	3.6%	2.6%	+ 1.0%
		3回目	43	0.2%	0.2%	0.1%	+ 0.1%

⇒ 本市の接種率は、全ての年代において全国平均を上回る接種率となっているが、50代以上の接種率が高い傾向にある一方で、40代以下の接種率は低い傾向となっている。

3 接種体制

接種体制		接種会場	ワクチンの種類
本市	個別接種	・市内の病院・診療所（約270か所）	<u>オミクロン株対応型</u> ・ファイザー
	集団接種	・地区市民センター（13か所） ・市民活動センター（2か所） ・保健センター，総合コミュニティセンター ・宇都宮大学，ライトキューブ宇都宮	<u>オミクロン株対応型</u> ・ファイザー ・モデルナ <u>従来型</u> ・ファイザー ・ノババックス
県	大規模接種	・とちぎワクチン接種センター（県内4か所）	<u>オミクロン株対応型</u> ・モデルナ <u>従来型</u> ・ノババックス

※このほか、国において自衛隊大規模接種センターや職域接種を実施

4 接種促進に向けた取組について

(1) 市民への周知

重症化予防や感染予防などのワクチン接種による効果やワクチンの安全性などについて広く周知を図るため、様々な媒体を活用した広報を実施

- ▶ 市広報紙，市ホームページ，ラジオ，とちぎテレビデータ放送
- ▶ 市内各所のデジタルサイネージ（馬場通りや南大通り，作新学院前の大型ビジョン）や本庁舎，地区市民センター設置のモニターによる啓発動画の放映
- ▶ 新聞折り込みチラシの配布
- ▶ 市公式ツイッター，LINE「教えてミヤリー」等のSNSの活用
- ▶ 保育園・幼稚園・小中学校等の保護者向け一斉メールの活用

(2) 若者や働く世代に向けた接種促進

高齢者と比較して接種率が低い傾向にある若者や働く世代の接種促進を図るため、接種機会の拡充や、プロスポーツチーム、企業等と連携したキャンペーン等を実施

実施時期	主な取組
3回目接種促進 (令和4年4～6月)	<ul style="list-style-type: none">・抽選でプロスポーツ関連グッズ等を贈呈する「接種促進キャンペーン」の実施・工業団地・商業施設への「ワクチンバス」の派遣・大学を会場とした集団接種の実施
オミクロン株対応ワクチン 接種促進 (令和4年12月～令和5年3月)	<ul style="list-style-type: none">・平日夜間や土日における「ライトキューブ宇都宮」を会場とした集団接種の実施・「ウツノミヤテラス」と連携した接種促進の実施・工業団地・商業施設への「ワクチンバス」の派遣

Ⅲ 今後の対応・・・別紙

「新型コロナウイルス感染症」への対応については、現在、国において、令和5年度以降の具体的な方針等が検討されていることから、国の動向を踏まえながら、市医師会などの関係団体と連携し、適切に対応していく。

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更について

別紙

令和5年2月10日現在

内容		現在	5類感染症移行後（5月8日以降）	
①患者等への対応	入院・外来の医療費の公費負担	あり	自己負担分に係る一定の公費支援について、期限を区切り継続	
②医療提供体制	外来	指定された医療機関 (発熱外来, 診療・検査医療機関)	幅広い医療機関が対応する体制へ段階的に移行	
①患者等への対応及び ②医療提供体制は 3月上旬を目途に具体的な方針 が示される予定	入院	感染症指定医療機関, 入院受入医療機関	幅広い医療機関が対応する体制へ段階的に移行	
	入院措置・勧告	あり	なし	
	入院調整	行政が関与	個々の医療機関間で調整する体制へ段階的に移行	
	発生届等	重症化リスクの高い方のみ発生届の提出	定点サーベイランス（法に基づく発生届終了）	
③サーベイランス (発生動向調査)	ゲノムサーベイランス	実施	実施	
④基本的な感染対策 マスクの取扱いに関しては、今 後早期に見直し時期も含め、そ の結果が示される予定	マスクの着用	屋内では基本的にマスクの着用を推奨	個人の判断に委ねることを基本 ※政府はマスク着用が効果的な場面の周知を実施	
	クラスター防止対策	医療機関, 高齢者施設を対象に実施	継続	
⑤ワクチン		引き続き予防接種法に基づき実施。令和5年度の接種方針は国において検討中であるが、必要な接種については自己負担なしの見込み。秋冬の1回接種を基本に、重症化リスクが高い者等にはさらなる追加接種も検討		
⑥水際措置	検疫の措置	検疫感染症として対応	なし	
新型インフルエンザ等対策 特別措置法関連	新型コロナ感染症対策本部	あり	廃止（県対策本部も廃止）	
	新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針	あり	廃止	
	各種措置	・緊急事態宣言やまん延防止等重点措置などに基づく住民等への外出自粛要請や施設使用制限等 ・薬局等の無料検査事業 など		終了
		・臨時医療施設の設置		今後検討